

3 経営数値目標

当社では、事業管理と併せて、顧客満足度などの経営状況を評価する指標を導入し、その向上に努めています。

2006年度の経営数値目標

	指 標	2005年度実績(見込み)	2006年度目標値
サービス向上	総合顧客満足度	2.7	2.9
	ETC利用率	70%	90%
	平均走行速度 (東京線・平日・昼間) (4号線上り・平日・昼間) (6号線上り・平日・昼間)	4.1 km/h 2.6 km/h 2.4 km/h	4.2 km/h 2.7 km/h 2.5 km/h
	渋滞損失時間(東京線) ^(注1) (平日平均)	93,000台・時/日	90,000台・時/日
	工事渋滞量(首都高速道路全線・19時~翌6時)	1.8 km・h/日	1.5 km・h/日
	死傷事故率	3.2件/億台 Km	3.1件/億台 Km
	路上工事時間	3.40時間/km	3.25時間/km
	騒音に係る夜間要請限度達成率 (高速単独区間)	91%	94%
	ホームページアクセス件数	45,000件/日	50,000件/日
	ネットワーク整備	新規ネットワーク完成率	-
構造物保全	道路構造物予防保全率 ^(注2)	94%	96%
コスト削減	建設費コスト削減達成率 ^(注3)	-	10%
	管理費(既存路線の維持修繕費) コスト削減達成率 ^(注3)	-	20%
関連事業	関連事業売上 ^(注4)	3.2億円	3.7億円
	関連事業税引き前当期損益 ^(注4)	3億円	3億円
	首都高カード発行数	14,000枚	50,000枚

(注1) 年間総渋滞損失時間 2005年度実績(見込み)3,000万台・時/年、2006年度目標値2,900万台・時/年

(注2) 道路構造物の損傷により長時間通行規制をすることがないように予防保全を行っている道路延長の割合。
なお、橋脚補強完了率は100%達成済み。また、道路構造物保全率(舗装)は99%を維持。

(注3) 2006年度削減実施額/2006年度以降削減計画額。なお、管理費(既存路線の維持修繕費)については、その削減分を未補修損傷の補修等に充当。

(注4) 連結ベース、消費税抜き。